

なごや生物多様性サマースクール 2019

生きものが棲む猪高の水を調べよう

2019年8月3日 9:30~12:00

主催 なごや生物多様性保全活動協議会

運営 名東自然倶楽部 調査グループ

今年も表記イベントを開催しました。

今年は暑さ対策の為、最初の説明を測定方法のみとしてまずは測定の為フィールドに出て、帰って来てから猪高緑地の説明、今日の調査項目の説明、測定結果の説明を行いました。

又、塚の杵池の西側は日当たりが強い為、暑さ対策の為、東側に測定点を移しました。

測定地点は、塚の杵池の水草（オオバナイトタヌキモ）の下の水、塚の杵池からこもれば池に向かう流れの水（デッキ下）、こもれば池の出口付近の水です。今年は昨年禁止されたCOD：Chemical Oxygen Demand 化学的酸素要求度を測定するパックテストの薬剤が開発された為測定する事が出来ました。

最初に測定したのは、塚の杵池の水草（オオバナイトタヌキモ）の下の水です。塚の杵池はスイレン（浮葉植物）やオオバナイトタヌキモが多くの水面を覆っています。水面で光合成を行い酸素を出しますが、その下では光合成を行いません。そのような水草の下ではDO：Dissolved Oxygen 溶存酸素が少ない事が予想されます。結



果は、5.0mg/l とやはりかなり低い値を示しました。溶存酸素が少なくても生きていけるコイやフナが生きていけるレベルでした。

次に測定したのは、デッキの下の流れです。ここは、塚の杵池からの流れだけでなく、左右の尾根からしみ出す水も集まって流れています。流れによって、水は攪拌され空気と触れる機会が多く、溶存酸素が多くなると予想されました。測定結果は、6.65mg/l と塚の杵池よりは高い値でしたが、昨年より流量が少ない為か、あまり高い値ではありませんでした。



最後に測定したのはこもれば池です。塚の杵池水系の一番下の池になります。2013年末にできた新しい池で、水草は殆ど生えていません。抽水植物が岸辺に散在している程度です。DO 7.0mg/l デッキ下より若干高い値でした。

昨年と比較して、デッキ下のCODが高いのが目立ちます。今年は流れが少ない為、十分に攪拌されず、好気性バクテリアによって有機物が分解される事が少なかったからではないかと思えます。

参加者全員にパックテストの測定を経験して頂きました。

最後に、森の集会所で結果の共有、解説を行い解散としました。今年も、親さんの参加が多く、生徒さんよりたくさんの方の参加でした。非常に熱心で、親さんからの質問の方が多かった状況でした。

	塚の杵池					デッキ下の流れ				こもれば池			
	水草の下	表面	底	睡蓮の下	水草の下					排水口			排水口
	2017/8/1	2018/6/12	2018/6/12	2018/8/4	2019/8/3	2017/8/1	2018/6/12	2018/8/4	2019/8/3	2017/8/1	2018/6/12	2018/8/4	2019/8/3
気温	32.7	29.1		36.2	31.4	30.5	27.1	33.1	33.6	33.8	28.1	32.6	32.6
水温	29.7	27.9	25.0	31.0	30.6	28.3	24.1	28.5	26.3	28.6	22.8	31.1	30.6
pH	6.0	6.5	6.5	6.5	6.0	7.0	6.5	7.0	6.5	6.5	6.5	7.0	7.0
COD	20.0	20.0	30.0		16.0	6.0	7.5		15.0	17.0	13.0		18.0
DO	4.0	6.0	4.0	4.5	5.0	10.0	7.0	7.0	6.5	7.0	6.5	7.0	7.0
透視度	41.2	86.0		48.0		46.5	51.0	23.0		52.0	33.0	25.0	
水の色	薄い黄緑	乳白色	やや乳白色	薄茶	薄一い茶色	淡い黄緑	やや乳白色	薄茶	薄茶	淡い黄緑	淡い黄褐色	薄茶	茶色
におい	2水草臭い	水草の臭い	水草の臭い	砂遊びの臭い	微かに匂いが何かわからない	2水草の臭い	無し	表現できない程度	微かに匂いが何かわからない	2水草の臭い	水草の臭い	?と言う臭い	匂いが分からない

2017年8月1日 なごや生物多様性サマースクール 2017

2018年6月12日 上社中学校2年生 総合学習

2018年8月4日 なごや生物多様性サマースクール 2018

2019年8月3日 なごや生物多様性サマースクール 2019